TeVスケールでのU(1)<sub>B-1</sub>対称性の 破れによりニュートリノ質量を説明する 輻射シーソー模型とその加速器現象



S. Kanemura, T.N., H. Sugiyama, Phys. Lett. B703:66-70 S. Kanemura, T.N., H. Sugiyama, Phys. Rev. D85, 033004 基研研究会素粒子物理学の進展2012 2012年7月18日

標準模型では説明できない いくつかの現象が知られている。

ニュートリノ振動 Particle Data Group (2012)

 - Δm<sup>2</sup><sub>21</sub> ≈ 7.5 × 10<sup>-5</sup>eV<sup>2</sup>, Δm<sup>2</sup><sub>32</sub> ≈ 2.32 × 10<sup>-3</sup>eV<sup>2</sup>
 暗黒物質
 - Ωh<sup>2</sup> ≈ 0.11
 宇宙のバリオン数非対称
 - n<sub>B</sub> ≈ 2.54 × 10<sup>-7</sup>cm<sup>-3</sup>

特に、ニュートリノ振動と暗黒物質は TeVスケールでの輻射シーソー模型 を考えると自然に説明できる!















O(0.1) eV程度の微小なニュートリノ質量をTeVスケールの 新粒子、O(0.01-0.1)の結合定数を用いて自然に説明可能!





Experimental bound(XENON100):  $\sigma(\Psi_1 N \rightarrow \Psi_1 N) < 8 \times 10^{-45} \text{cm}^2$ E. Aprile et al. (2011)

#### 現在までの実験と無矛盾。





Z' mass: O(1-10)TeV  $\Gamma(Z' \rightarrow XX) \propto (B-L \text{ charge})^2$ Z' はおおよそ 30% invisibleに崩壊。

Z'の生成断面積は√s = 14 TeVの LHCでM<sub>Z'</sub>= 2000 GeV、g<sub>B-L</sub>= 0.2 の時におよそ70 fb

Z'の崩壊分岐比を測定すること により(1-10)TeVで破れるB-L対 称性があることが分かる!



L. Basso, A. Belyaev, S.Moretti and C. H. Shepherd-Themistocleous (2009); L.Basso (2011)

Z'だけではこの模型を特定することはできない。



- 1. 暗黒物質は Lψη 結合を通じて電子と直接結合する。
- 2. シグナルは終状態にでるレプトンの世代が違うため、 暗黒物質が直接レプトンと結合していることを示唆する。.
- 3. バックグラウンドは全ての e, E  $\rightarrow$  e,  $\mu$  + missingプロセス。



30 mrad, 20 mrad 以上を考える。



√s = 350GeV:M<sub>DM</sub> ≲ 64 GeV の場合3σ C.L.で検証可能! √s = 500GeV:M<sub>DM</sub> =O(100) GeVまで5σ C.L.で検証可能!



μ→eγ からの制限を逃れるため、 暗黒物質はμよりもτと強く結合する傾向にある。



μモードの断面積が小さい場合でも、 τモードを調べることにより暗黒物質を検証可能!



√s=350 GeVのILCで500fb<sup>-1</sup>のデータが集まった時に、 ヒッグス粒子のinvisibleへの崩壊を調べることで、 暗黒物質Ψ<sub>1</sub>を3σで検証可能。



- パラメータセットでは、
   右巻きニュートリノは主にWボソン、レプトン対に崩壊する。
- 2. この解析ではWボソンがjet二つに崩壊する過程に注目。
- 3. バックグラウンドは全ての e, E  $\rightarrow$  e (or  $\mu$ ), W+missingプロセス.

 $\label{eq:mass_stable$ 





#### **5.**Conclusion

① U(1)<sub>B-1</sub> ゲージ対称性がニュートリノ、暗黒物質の 質量と暗黒物質の安定性の共通の起源となる TeVスケールの輻射シーソー模型の加速器での 検証可能性を考えた。 ② Z'<sub>B-1</sub> はLHCで発見される。 ③ 暗黒物質 Ψ₁ は √s = 350 GeV のILCで1 ab<sup>-1</sup>の データが溜まると $M_{DM} \lesssim 64 \text{ GeV}$ まで $3\sigma$ で検証可能。 ④  $\sqrt{s} = 500 \text{ GeV}$  のILCでは1 ab<sup>-1</sup>のデータが溜まると O(100)GeVの暗黒物質が5σで検証可能。 ⑤ 右巻きニュートリノは $\sqrt{s} = 1 \text{ TeV} \text{ OILC COS}^{-1}$ の データが溜まった時に3σで検証可能。 ⑥ ILCでは標準模型的なヒッグスが二つだと分かる。 ⑦ ILC はこの模型を他の模型と区別可能!